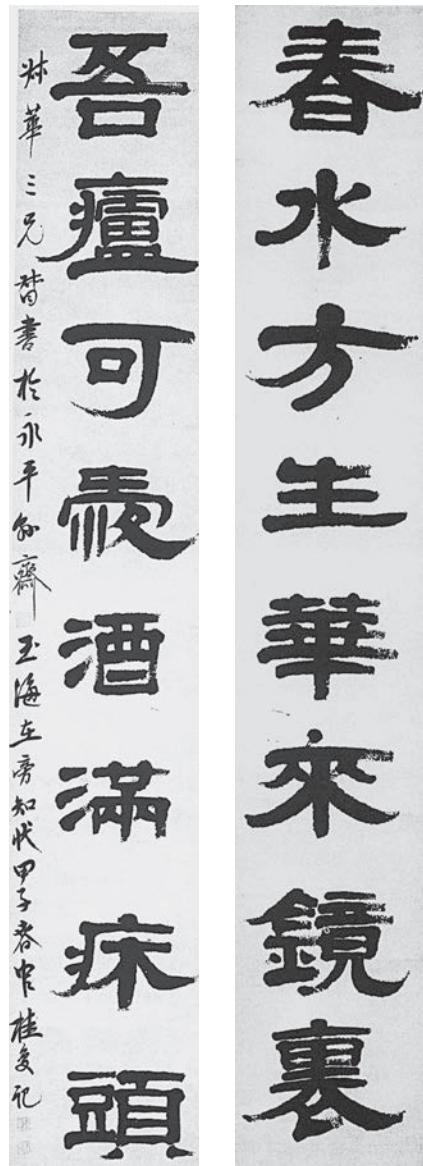


名蹟紹介



桂馥(けいふく)
(1736~1805)

清時代の学者。山東省曲阜の人。

字は未谷、または冬卉(とうき)、号は零門。

乾隆55(1790)年に進士となり、
雲南省永平県の知県となり、在任中に
卒した。

幼いころから群書を博涉し、特に
小学（文字の読み書きやその研究）
に潜心して『説文』の学に精通した。
とりわけ隸書は高く評価されており、
特に優れた才能を發揮した。結字厳
整で意態高躍・英威をそなえ、漢碑
に見られる雄強俊逸の風貌があつた。

春水方生華來鏡裏 吾廬可愛酒滿牀頭



(136×35cm)



(46×32cm)

桂馥といえども、隸書が真先に浮かぶ。その位、隸書作品の名作が数多く残っているようです。書風としては以前、本誌の隸書課題に取り上げた「乙瑛碑」に雰囲気が似ています。それゆえ、筆を執っていてもスムーズに筆が動き書き心地がよいというのが第一印象です。「曹全碑」と違うのは、線に厚みがあり、どっしりとした重厚感に溢れていることです。用筆に癖がないので、気持ちよく書けると思います。

右に書いたように、隸書の基本のような書風です。藏峰と水平な横画、そして波磔に気をつけると楽しく書けます。

禍に因りて福と為す。
(災を転じて福とする)

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

※弘前の部分には支部名を書く



推奨筆（花林）・推奨紙（無墨半紙・桐）・推奨墨（玉品）

楷書臨書課題解説

歐陽詢

九成宮醴泉銘



原帖



〔人〕
〔壽〕
〔東〕
〔觀〕

位置に注意して扁平にまとめる。始筆はしつかりと角度を作り、2画目終筆はどつしりと鋭い三角形に。

筆順は骨法を参照する。横画は、抑と平・覆勢が混在していることに着目する。2つの口の形に留意。

1画目は短く、日の縦画は強い背勢にし、各画の接筆に注意。左右はらいで字幅をとり、はねは小さい三角形にする。

余白はほぼ均等に作り、2つの口は横に並べる。見は少し下から書き始め、最終画終筆は筆の腹を落ち着けて斜め右にはね上げる。

偏は左に寄せて幅を狭く、旁は広い。懷を広くとり、旁の上部は動きを大きく下部は詰めて横画の長さに注意する。

偏の2画目は左に長く張り出し、口は下部を引き締める。己の最終画の上に余白を広くとり、終筆の抜き方は觀の最終画と同じ。

〔人壽東觀漢記〕（之を飲めば）人をして寿ならしむと。東觀漢記に（曰く）

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

※弘前の部分には支部名を書く

弘前
段級

以
如

其聲
也

對馬聖峰

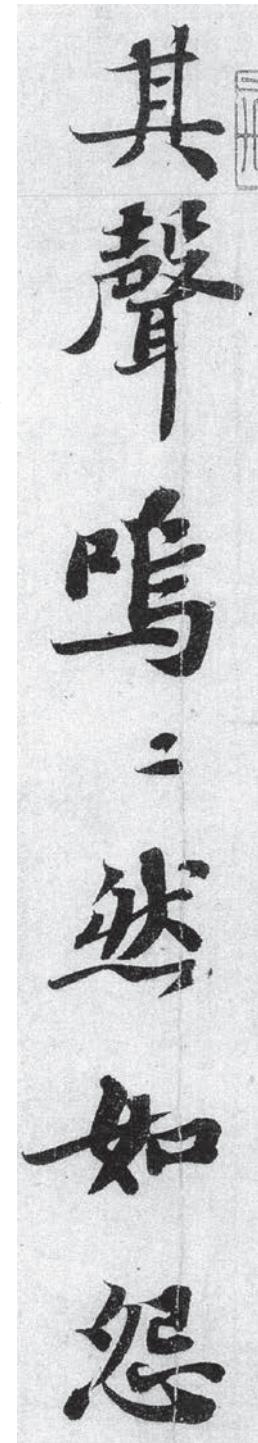


其聲
也

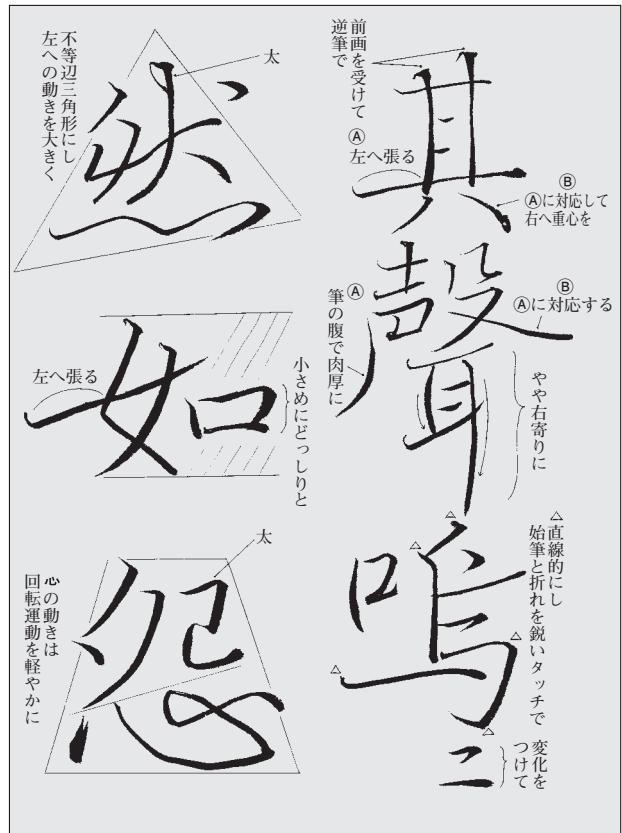
推奨筆（花林）・推奨紙（無墨半紙・桐）・推奨墨（玉品）

行書臨書課題解説

蘇軾 前赤壁賦



原帖



〔其〕

次の文字が縦長なので、小さく下部で広がる形にまとめる。2つの縦画の始筆は前画を受けて逆筆で入筆し、1番下の横画（骨法①）に対応して右へ重心を置く。

声の左はらい（骨法①）は筆の腹で肉厚に、殳の最終画終筆（骨法②）は①に対応し重厚に。耳はやや右寄りに置き、2本の縦画も対応している。

〔聲〕

口は小さく、左上に配置させ、骨法△印は始筆と折れを鋭いタッチで。最終横画は思い切って長くのびやかに。前の字に寄り添うように、変化をつけて、位置に注意して小さく。

〔鳴〕

不等辺三角形にまとめ、左への動きを大きく。太細の変化をつけて、犬の2画目は打ち込みを強く、𠂇は滑らかに次第に右上がりに。

〔然〕

横広に形づくり、全体に重厚な線で。女の3画目は左へ大きく張り出し、勢いよくはらい上げる。

〔如〕

概形は下部の広い台形に、余白に氣を配つてのびやかに運筆する。心は回転運動を軽やかに。

〔其聲鳴々然如怨〕 其の声鳴々然として、

怨むが如く(泣くが如く)

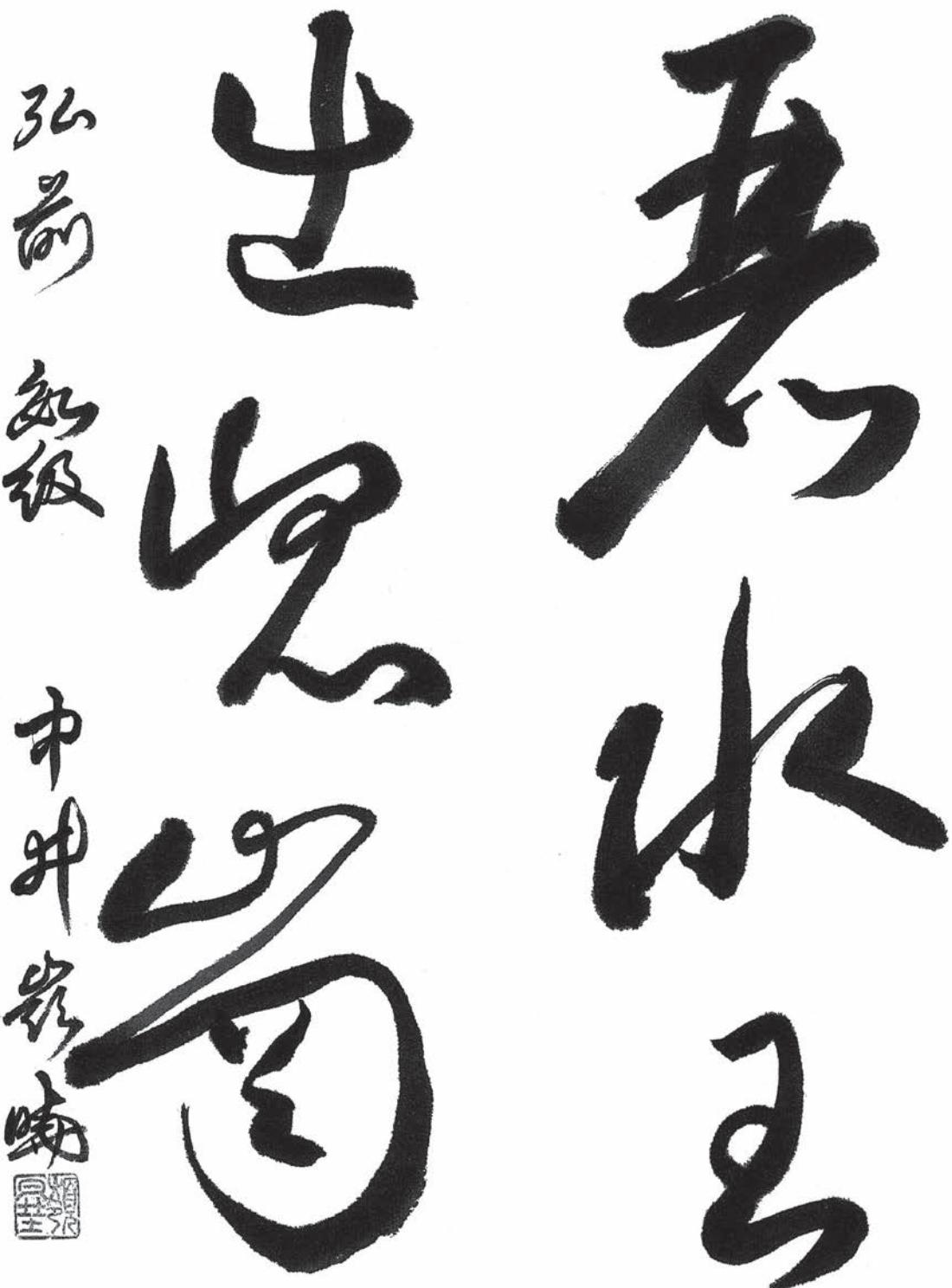
11月号

草書臨書課題（漢字半紙部）

中井嶺暁臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

※弘前の部分には支部名を書く



推奨筆（四海）・推奨紙（無罪半紙・桐）・推奨墨（玉品）

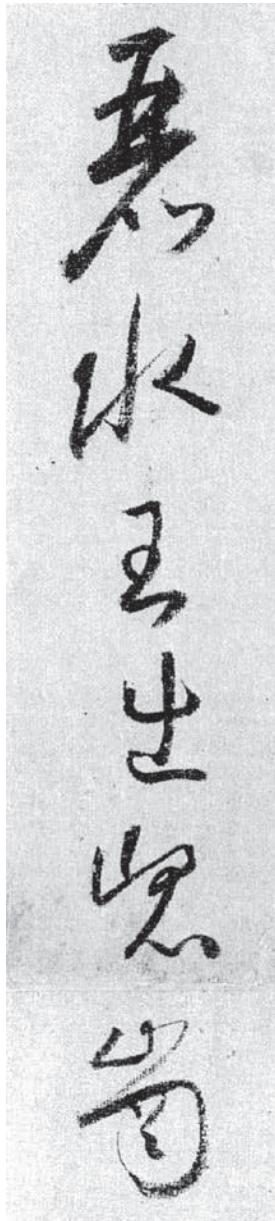
草書臨書課題解説

懐素

草書千字文

〔麗水玉出崗〕

(金は)麗水に(生じ)、玉は崗に出づ。



原帖



〔崗〕

〔出〕

〔玉〕

〔水〕

〔麗〕

全体に重厚な線で大きく、下部で広がる形になる。上部の縦曲と横画の方向と長さに注意し、左下への長い画は、次第に筆圧を加え思い切って長く。右下の部分は小さいが動きをしつかりと。

縦曲は軽く入筆し、柔らかい線で軽くうねる。左側の余白を広くとり、太細をつけてバランスよくまとめる。

小さめに、下部で広がる形にまとめる。横画の長さと間隔に気を配る。字形は原帖と同じく、王を書いているが、文脈からは玉が正しい。

上部の余白の広狭に留意し、縦の部分は打ち込みを強く、揺れているが張りのある線を心掛ける。

偏は小さく上部に、旁は少し下げる。旁の口と比の間を広くあけて、比の部分はリズミカルに運筆する。

山は太細の変化をつけ、線は細いがしつかりと。山を受けるように岡は動きを大きくのびやかに運筆する。中の部分は左右の余白に変化をもたせ、動きは小さいがしつかりと。

11月号

隸書臨書課題（漢字半紙部）

對馬聖峰臨



※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

※弘前の部分には支部名を書く

★揮毫動画を配信しています（P.36）

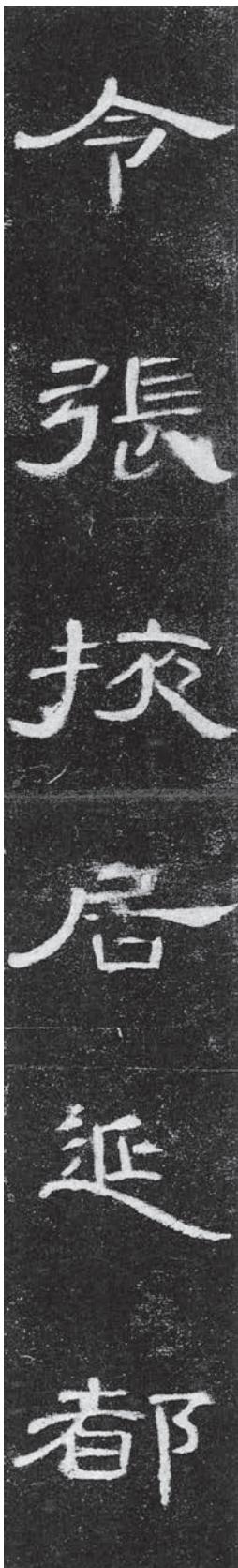
弘前 段級 對馬 聖峰

居 令
正 張
者 部 技

推奨筆（四海）・推奨紙（無墨半紙・桐）・推奨墨（玉品）

隸書臨書課題解説

曹全碑



原帖



- | | |
|--|---|
| <p>〔都〕
上部は狭く、3画目終筆は強く押し込む。古の長い横画は右側を長くして、波磔はゆるやかに。</p> <p>〔延〕
丸を左に寄せて、上部は密に。最終画のはらいが主画となるので、右へ大きく美しくはらう。終筆は軽い波磔で、上部を広くあける。</p> <p>〔掖〕
偏の下部と旁の上部に余白をつくり、懷を広くとつてゆつたりと見せる。旁の最終画は方向に注意する。</p> | <p>〔張〕
偏は幅を狭く、旁は広くする。骨法△印の終筆の重さの違いに着目する。余白の広狭に留意して、バランスよくまとめる。</p> <p>〔居〕
偏は左下への動きを大きく、旁は逆に右下への動きが大きい。旁の横画の長さや余白のとり方に留意する。</p> <p>〔今〕
1・2画目で字幅をとり、1画目終筆はぐつと押し込む。△印は少し右寄りに配置し、右側より左側の余白を広くする。</p> |
|--|---|

〔今張掖居延都〕 今、張掖居延都(尉たり)。

※出品段級位(漢字半紙部 新級～正師範)

楷・行・草の三体字典からとっています。

弘前段級

三浦芳汀



※弘前の部分には支部名を書く

孝
抗
攻
更
効
幸
拘

孝
抗
攻
更
効
幸
拘

孝
抗
攻
更
効
幸
拘

推奨筆(天開)・使用紙(中字用半紙)・推奨墨(玉品)

◎19頁に部分解説があります。

※出品段級位（調和体部 新級～正師範）

◎19頁に部分解説があります。

推奨筆（からまつ）・使用紙（調和体用紙）・推奨墨（書芸真竹（固型））

このたびは無事退院されて来月

から職場に復帰される予定です

が、健康管理は怠物です、どうかゆづく

と体を慣らしていく所存です

箭 段級 佐々木彩苑



読み—このたびは無事退院されて来月 から職場に復帰されることです
が御無理は禁物です、どうかゆづく
と体を慣らしていく所存です

(◎印墨つき)

※弘前の部分には支部名を書く

漢字条幅漢詩課題

A 漢字条幅部

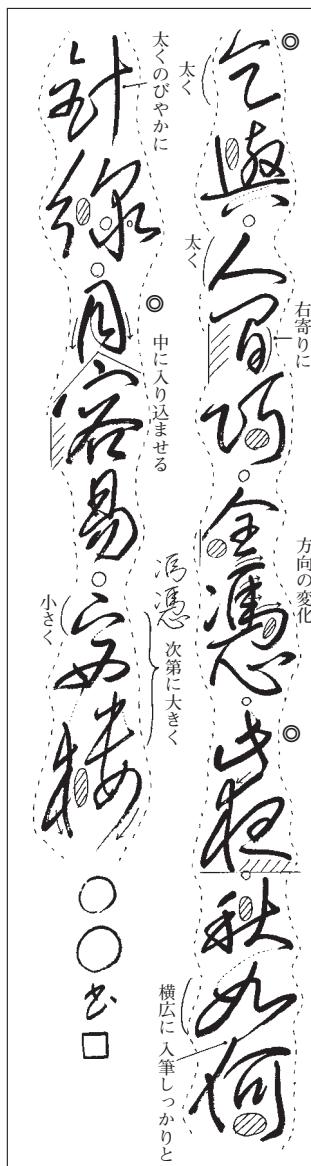
※出品段級位(新級～正師範)

手本を見るとき、行のうねりや流れが上からどのように表現されているかをしっかりと見きわめて書かなければいけません。1行目はその行だけですからよろしいのですが、2行目になると1行目にも神経を配りながら書いていくことを忘れないことが重要です。ですから書き始めて進行するにつれて下の部分になればなるほど、上方を見て書くといくことを習慣化してほしいのです。ところが實際は、お手本のその部分しか見ていません。今書こうとしているその部分は、先に書かれた部分との関連によってできた結果であるのですから、そんな単純に書かれるべきものではないのです。全体を見る余裕が必要です。余裕を持つためには、やはり枚数をこなす必要があるのです。

「手許に『書道名言辞典』という本があります。その中に書を学ぶや必ず先ず氣を作せが目につきました。書は技術的なものもおろそかにできないが何より氣力の充実こそ大切であると訴えています。そんな作品ながら書いていくことを忘れないことが重要です。ですから書き始めて進行するにつれて下の部分になればなるほど、上方を見て書くといくことを習慣化してほしいのです。ところが實際は、お手本のその部分しか見ていません。今書こうとしているその部分は、先に書かれた部分との関連によってできた結果であるのですから、そんな単純に書かれるべきものではないのです。全体を見る余裕が必要です。余裕を持つためには、やはり枚数をこなす必要があるのです。

『手許に『書道名言辞典』という本があります。その中に書を学ぶや必ず先ず氣を作せが目につきました。書は技術的なものもおろそかにできないが何より氣力の充実こそ大切であると訴えています。そんな作品ながら書いていくことを忘れないことが重要です。ですから書き始めて進行するにつれて下の部分になればなるほど、上方を見て書くといくことを習慣化してほしいのです。ところが實際は、お手本のその部分しか見ていません。今書こうとしているその部分は、先に書かれた部分との関連によってできた結果であるのですから、そんな単純に書かれるべきものではないのです。全体を見る余裕が必要です。余裕を持つためには、やはり枚数をこなす必要があるのです。

『手許に『書道名言辞典』という本があります。その中に書を学ぶや必ず先ず氣を作せが目につきました。書は技術的なものもおろそかにできないが何より氣力の充実こそ大切であると訴えています。そんな作品ながら書いていくことを忘れないことが重要です。ですから書き始めて進行するにつれて下の部分になればなるほど、上方を見て書くといくことを習慣化してほしいのです。ところが實際は、お手本のその部分しか見ていません。今書こうとしているその部分は、先に書かれた部分との関連によってできた結果であるのですから、そんな単純に書かれるべきものではないのです。全体を見る余裕が必要です。余裕を持つためには、やはり枚数をこなす必要があるのです。



推奨筆(白神)・推奨紙(漢字条幅用紙半切・華心箋)・推奨墨(書芸良竹^{かしんせん}・固型)



半切(約136×約35センチ)

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

注意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので、漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。
なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

〔乞與人間巧〕全憑此夜秋 如何針線月 容易下西樓 張昱 (印は墨つぎ)
読み一人間の巧を乞与するは、全く此の夜の秋に憑る。如何ぞ針線の月、容易に西樓を下るや。
意味一世間で針仕事の上達を願うのは、全くこの秋の夜による。どうして針や糸のように細い月が、たやすく西楼に下つてゆくのか。○容易：針線の月が容易に下れば、西楼の女も容易に上達しそうなものという。

漢字条幅臨書課題

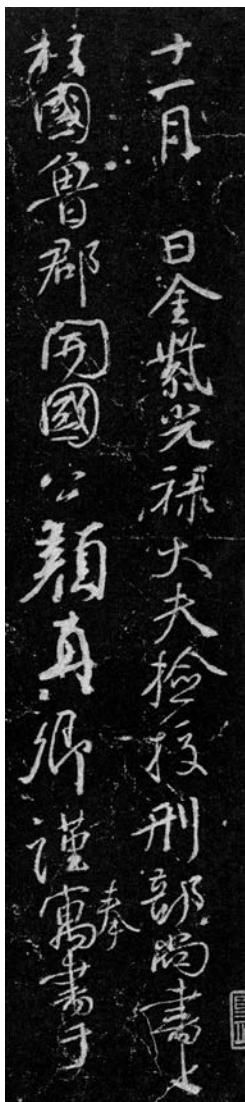
B 漢字条幅部

※出品段級位(新級→正師範)

への抗議文。この真跡を見た蘇軾は「もつとも奇特となす。
手にまかせて自然、動きに姿態あり」とほめ、米芾は「字々
相い連属飛動し、詭形狀を異にし、意外に得るなり」と称賛
している。

◆ 頭真卿 (争坐位文稿)
今月から争坐位文稿の用筆を中心とした解説のページにし
ます。

その前に争坐位稿のあらましです。書
翰の草稿で、56歳時の作です。中国唐時
代の西暦764年に頭真卿が右僕射郭英
乂に奉じたもので、内容は郭英乂が権勢
を誇る宦官にへつらい礼制を乱したこと



この稿は三稿(祭姪、祭伯、争坐位)の中でも古来、最も
高い評価を得ています。

十一月 日金紫光祿大夫檢校刑部尚書上柱國
魯郡開國公顏真卿書

半切 (約136×約35センチ)

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

〔十一月 日 金紫光祿大夫檢校刑部尚書上柱〕 (◎印は墨つき)
読み—十一月 日 金紫光祿大夫・檢校刑部尚書・上柱 (國・魯郡開國公)
意味—十一月 日、金紫光祿大夫・檢校刑部書・上柱 (國・魯郡開國公)

注意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので
漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。
なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

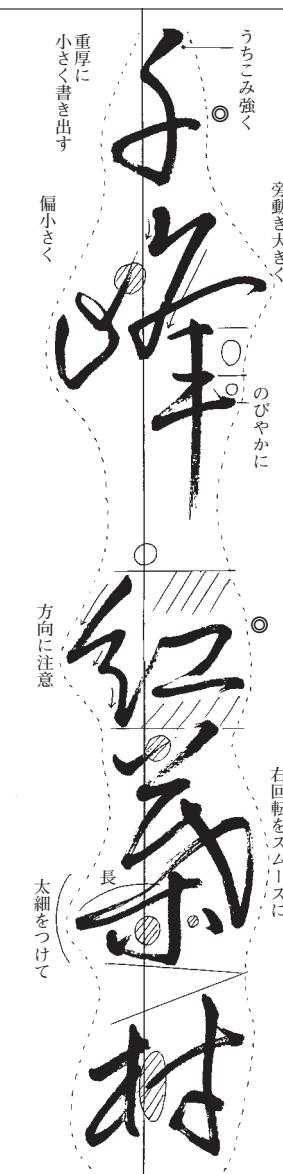
漢字条幅初等課題

※出品段級位(新級～準三段)

八甲田山の紅葉も見頃になつてきました。赤や黄色に染まつた葉々が陽光に照らされ輝き、言葉にならない程の美しさで感動を与えてくれます。SNSで話題になつてている葛沼は朝焼けの湖面に映る真紅の絶景を拝む為、大混雑に。展望デッキへの入場は事前予約制とのこと。いつかは葛温泉に宿泊してゆつたり堪能したいなあと毎年同じ夢を抱いています(笑...)。

今月号は景色と同じ課題にしました。2文字・3文字の構成になつています。書き出し小さく次第に広がりを持たせ、紅からは3文字一気に書きましょう。

〔千〕
・書き出しは小さく重厚に、峰の最終画と同じにならない様に草体にする。



推奨筆(心月)・推奨紙(四半切華心箋)・推奨墨(書雲冥竹(固型))

- 〔峰〕
・旁と千の関係性により偏はやや下に。
〔紅〕
・墨継ぎ。小さめに墨たっぷりと。旁の上部に広い余白を。
〔葉〕
・草体につき、のびのびと一気に書き上げる。
〔村〕
・偏と旁の縦画の方向に変化を。



四半切(約68×約17.5センチ)

初等課題原寸大手本300円

注意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので、漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

〔千峰紅葉村〕 藍智
読み一千峰紅葉の村
意味—多くの峰は紅葉の景色多い村に聳えている。

(◎印は墨つき)

(◎印は墨つき)

※出品段級位（実用課題 新級～五段）

※弘前の部分には支部名を書く

〔実用課題〕は、段位認定証を発行しております。（支部長先生は支部長手帳のP33をご覧下さい。）

弘前 段級 大澤華園



賜物
お歳暮

賜物
お歳暮

多祥
祈勝利

多祥
祈勝利

盛會
寄贈

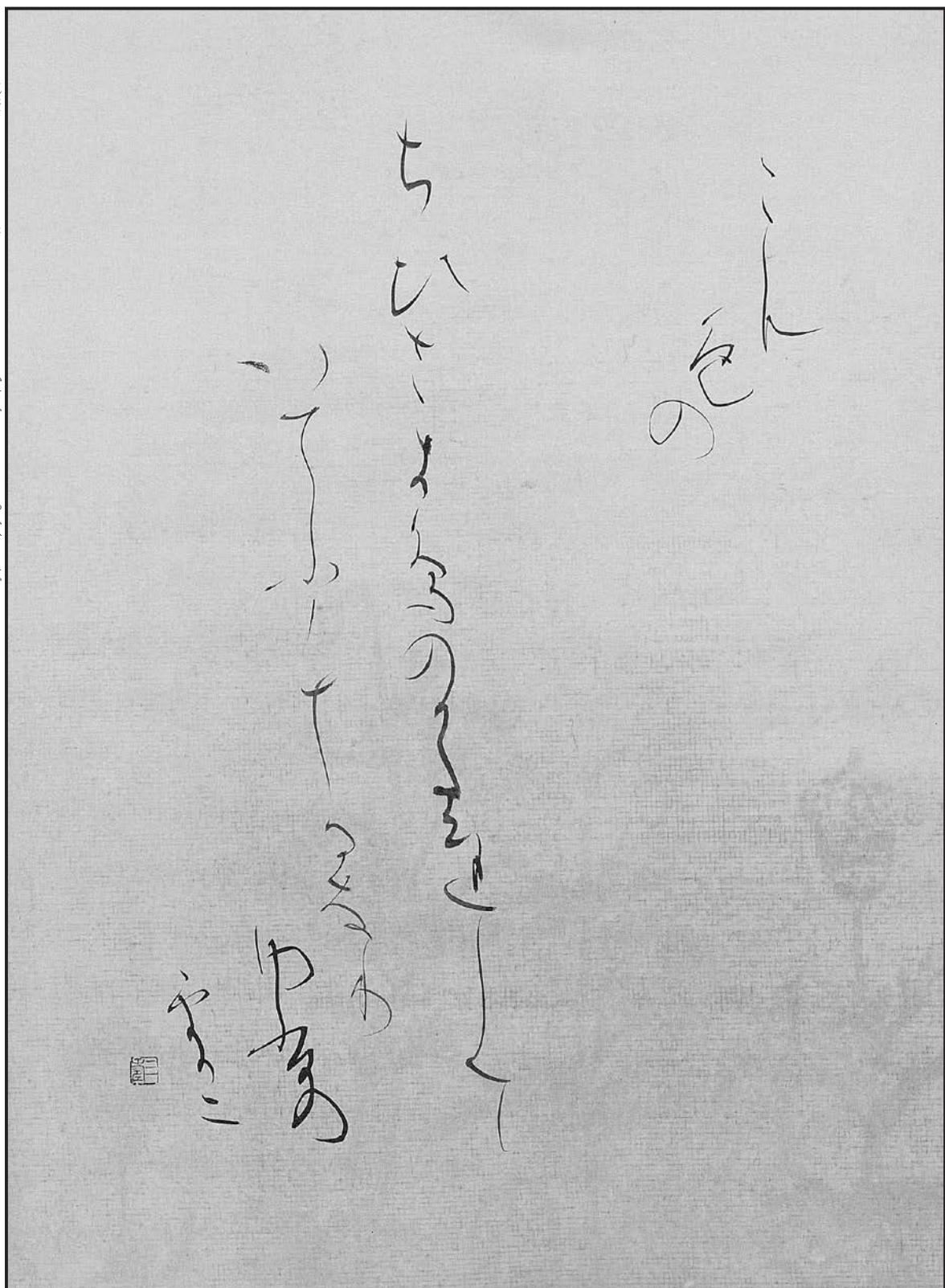
盛會
寄贈

推奨筆（和尚）・使用紙（調和体用紙）・推奨墨（玉品）

※出品段級位（かな半紙部 新級～正師範）

読み—金色のちひさき鳥のかたちして銀杏ちるなり夕日の岡に（与謝野晶子）意味—金色の小さい鳥のかたちをして、銀杏のもみじが散っている、夕日の射す岡に。

注意→支部名・段級位・氏名は
鉛筆で左下に記入下さい。



○
こん色のちひさ支鳥の可多遜していてふ千る奈利ゆふ日の乎可一
きかたぢ

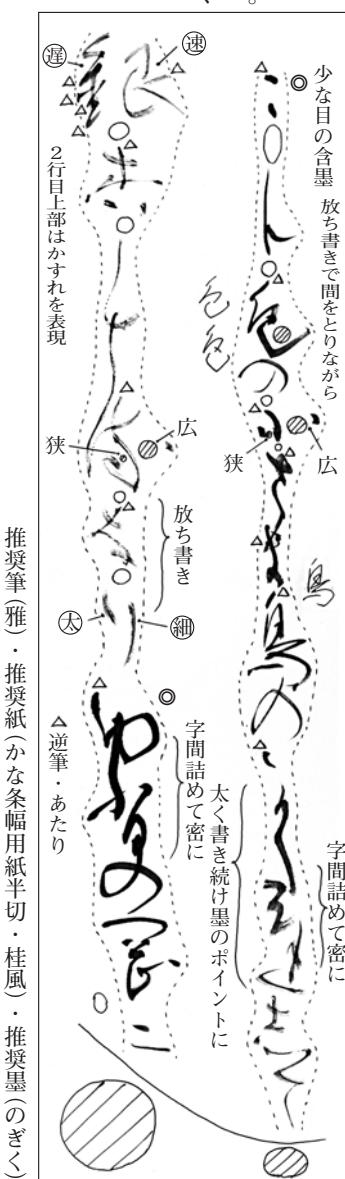
(◎は墨つぎ) ※19ページに解説があります。

かな条幅課題

※出品段級位(新級～正師範)

かなの特徴でもある連綿は続ければ続けるほど斜線がうるさく見え、また右から左に引く線の指向性によって行が左に傾斜しているように見えてきます。そこでこれらを解決するためには字形の大小・長短・広狭・文字をずらす、などの組み合わせを考えながら、自然で無理のない連綿の仕方を考えていかなければなりません。

また、なかには連綿線は早く書くものと考えている方がおられます。そうではありません。もちろんリズミカルに流れる場合もありますが、筆先に圧を加えながら、ゆっくりと書くところもあります。連綿線の書き方に実力が出るといつても過言ではありません。



『運筆の時、遅速変化や、タッチの軽重・直筆か側筆かによって線は様々な表情を持つようになります。仮名大字では、特に直筆だけでなく、俯仰法により、筆管を倒し、筆の多面を使うように運筆します。Youtubeに大字かなの運筆の様子をアップロードしていますので、ご参考になさって下さい。youtube Q湯川三壽 大字かな Instagram@sanjyukana』（【】内は湯川三壽先生より）

湯川三壽先生書



半切 (約136×約35センチ)

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

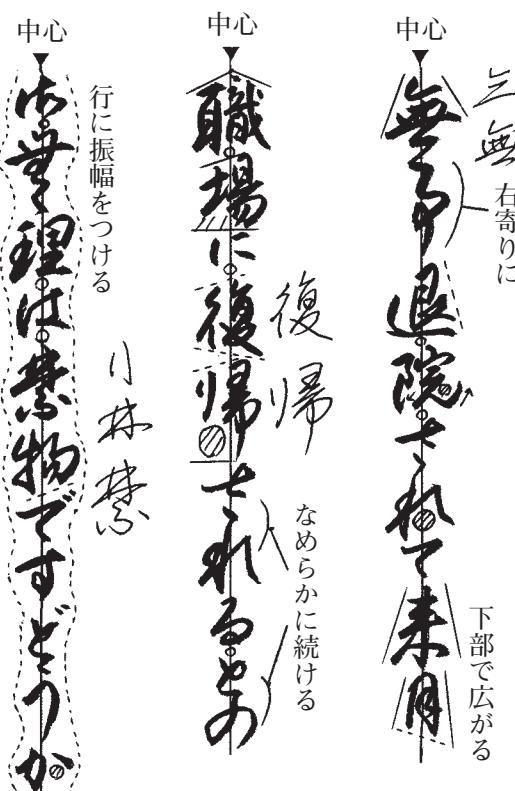
注意

かな半紙部門と段級位は異なりますのでかな条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
書部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

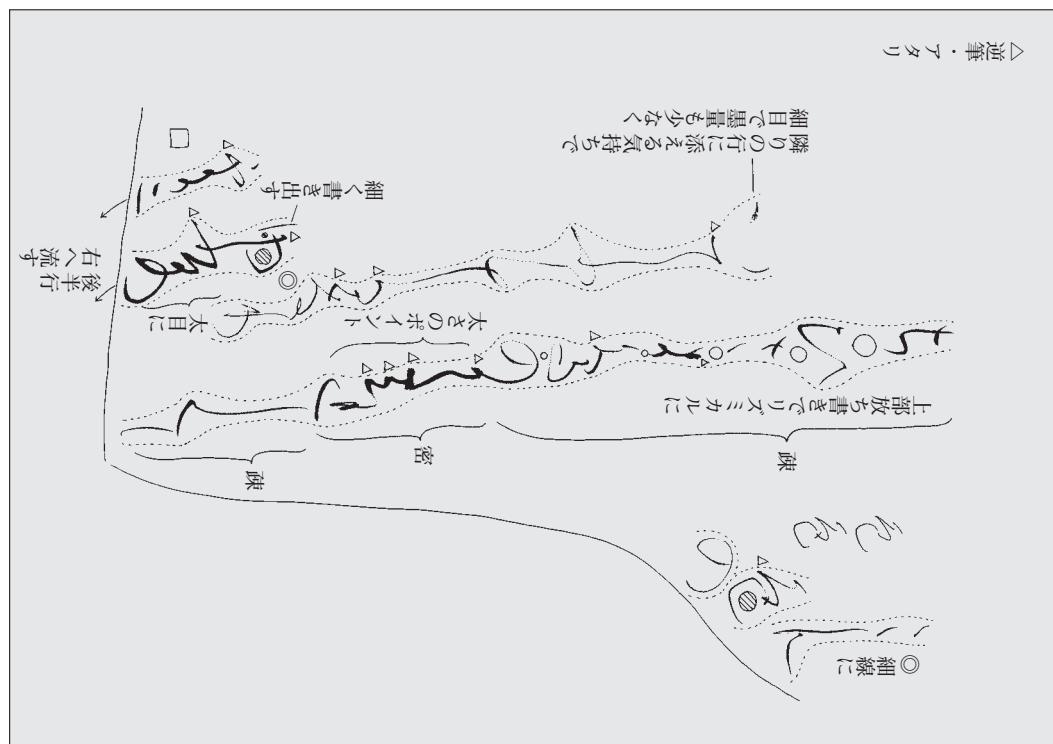
中字課題解説



調和体課題解説



かな半紙課題解説



(○)は墨つけ(○)

創作コ-ナ-ル

8月号漢字条幅創作課題

香荷疑散霧

風鐸似調琴

不覺清涼晚

歸人滿柳陰

私の創作作品

佐々木 峰 茜

香荷疑散霧風鐸似調琴ふ
覺清涼晚歸人滿柳陰

8月号創作概評

今回の詩文は、非常に難しかったように思います。何が難しかったかというと、画数が多い、そして字間の取り方に難儀したのではないかでしょうか。その中にあって、行間のすつきりした作品や、草体を上手に使って、まとめ上げている作品もありました。(對馬 聖峰評)

8月号創作出品者

※成績順に掲載します。(○印は写真版)

○佐藤 陽泉 志垣 陽凜 小山内覚仙 落合堂陽萌 橋本 隆峰
○中井 厳翔 伊藤 照峰 小林 玲霞 柳谷 玄海
○高橋 溪峻 阿部 悟雲 高橋 宏三 斎藤 城月

11月号 漢字条幅創作課題

出品資格「漢字部門 初段以上」

作品締切日：11月25日必着

江頭風景日堪醉 酒美蠻肥橙橘香

読み - 江頭の風景、日に酔うに堪えたり。酒は美に蠻は肥え橙橘香し。
意味 - 江岸の風景は毎日酔うに充分、酒はうまく蠻は肥え橙橘は香ぐわしい。

(陸游)

創作出品規定 作品左下に台帳番号・段位・姓氏を記入。例月作品とは別送し「創作コ-ナ-ル」係まで。作品返送希望者は、返送用封筒に住所・氏名を書き、切手を貼つて同封下さい。

8月号 創作優秀作品

佐藤 陽泉

非常に安定した書きぶり。流れ・行間ともに素晴らしい。

中井 厳翔

動きのある力強いタッチが見事。

香荷疑散霧風鐸似調琴ふ
覺清涼晚歸人滿柳陰

高橋 溪峻

筆の動きに淀みがあるのが惜しいが、とてもよくまとまっている。

香荷疑散霧風鐸似調琴ふ
覺清涼晚歸人滿柳陰

集字は王鐸字典を引き、詩文に沿うように、淡々とした流れを意識しました。2行目の山場に「覺清」を構成しながらも「帰人」も見せ場にしたい気持ちに駆られた結果の拙作です。

書作品を書こう



(四半切)

鶯宿はこの月の夜を雪ふるらし黒雲
そこにてただ乱れたり 宮沢賢治

宮沢賢治全集をパラパラ捲っていた
ら、ふと「鶯宿」の一文字が目に留ま
りました。鶯宿温泉がある岩手、雪石
町には、日本教育書道会の名付親の一
人でもある上野南滴先生や、その薰陶
を受け継いだ、たくさんの書友が現在
も学んでいて殊更、親しみを覚えます。
賢治は、黒雲に覆われ今夜は雪がち
らつくかもと、鶯宿をこんな風に詠ん
だのでしよう。雪石研修会の折には常
宿にした偕楽苑。その露天風呂に浸
かつて夜空を眺めたことを懐かしく思
い出します。

鶯宿

宮沢賢治全集をパラパラ捲っていた

ら、ふと「鶯宿」の一文字が目に留ま
りました。鶯宿温泉がある岩手、雪石

町には、日本教育書道会の名付親の一
人でもある上野南滴先生や、その薰陶

を受け継いだ、たくさんの書友が現在

も学んでいて殊更、親しみを覚えます。

賢治は、黒雲に覆われ今夜は雪がち
らつくかもと、鶯宿をこんな風に詠ん

だのでしよう。雪石研修会の折には常
宿にした偕楽苑。その露天風呂に浸

かつて夜空を眺めたことを懐かしく思
い出します。

7月号 優秀作品

伊藤照峰(半紙)

黃葉樹

柳谷玄海(半紙)

山花并木

◎温かい穏やかな中鋒の線が一層映え
て美しい作品。一字の中の白が生き
生きしている。

◎大小・太細がいい塩梅に効いている。
山がもう少し上にと、印の朱が欲し
かった。

出品規定

1. 締切 令和7年12月10日(11月号例月作品に同送可。その場合、別封筒に入れて「書作品を書こう」と書いて同送のこと。)
2. 発表 令和8年3月号
3. 規定用紙 四半切(17.5×68cm)
4. 優秀作品 1点だけ紙上にて発表(批評コメントつき)その他は姓号のみ発表
5. み発表 段級位に関係なく誰でも出品可
返送不可
6. 出品は掲載している同作品または、当月規定用紙であれば自由作品も可。ただし、参考作品が漢字の時は漢字作品を、調和体の時は調和体作品を出品して下さい。
※作品左下に姓号を鉛筆で記入して下さい。タテ・ヨコを間違わないよう。

出品者(順不同)

高橋宏三	阿部晶遼
村田秋晴	中村紫泉
.....	小池彩霞

※作品左下に姓号を鉛筆で記入して下さい。タテ・ヨコを間違わないよう。

◆楷書編

基本形の原理

三角形または台形にする文字

文字の中で左右のはらいがあつたり、主だった画が下部にある場合、それらの文字の概形は三角形または台形となります。それと逆に字幅をとる主な画が上部にある場合、逆三角形や逆台形になり、このような文字もたくさんあります。

○ほぼ三角形または台形になる例



中心となる画、字幅をとる画を意識して
(主格強調の原理)

一文字を構成している点画の中で、特にこれといって目立つ画のない場合もありますが、大半の文字はよく目立つ点画があります。これはその文字の主画となり、その画を強調することによって、文字に変化をもたせ、全体を統一化し、また文字に広がりをもたらせる役割をしています。これが主格強調の原理です。

人間社会の中にも目立ちたがりというのがありますが、あまり多いとケンカになつたり、目立ちたがりも目立たなくなつてしまします。文字の中には目立つ画というのは一つあればよく、文字造形上、ある程度必要なことです。あまり多くあることはよくありません。というより一つあればよいのです。目立つ画(主画)は家庭であれば、いわゆる主人であり、主人の主張と同様に奥さんや他の家族が互いに主張をゆずらなければ、その家庭はうまくいかないよう思います。文字の場合も、一画主張する画があれば、他の画はゆずり合って控えめに書くということが必要です。目だちたがり、でしゃばりばかりでは、まとまらないばかりか、決してよい文字は書けません。

これらの場合、楷書は静的で整齊美を求めるので、その形は正三角形、正台形に書く必要があります。

11月号

ペン楷書課題（ペン部）

三浦景秀書

支部名
学年

段級位

氏名

初めての人は新と書く

ゲーテ

芸術も
 人生と同じく
 深く入りこめば
 入りこむほど
 広くなるものである

11月号

ペン行書課題（ペン部）

三浦景秀書

支 部 名
学 年

※ゲーテ（1749～1832）：ドイツの詩人・劇作家・小説家。

段 級 位

初めての人は新と書く

氏 名

ゲーテ

芸術も
人生と同じく
深く入りこめば
入りこむほど
広くなるものである

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価550円

（万年筆プレバー・硬筆用紙6行使用）

11月号

ペン手紙課題（ペン部）

三浦景秀書

支部名

段級位

氏名

初めての人は新と書く

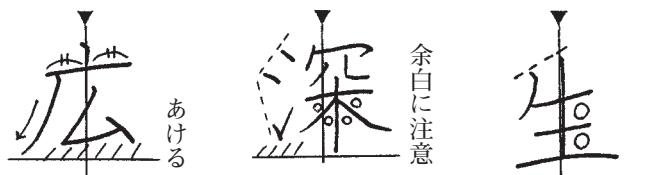
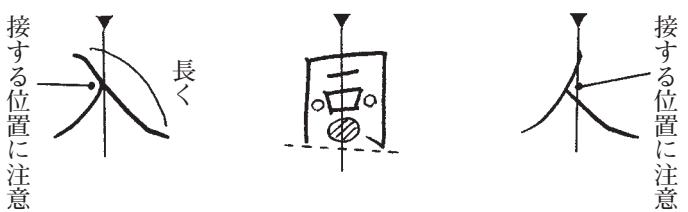
このたびは先づ退院まで来て来月から職場に復帰されるとのことですが
 御無理は禁物ですどうかゆつくりと体を慣らしていつてください

（万年筆プレバー・硬筆用紙8行使用）

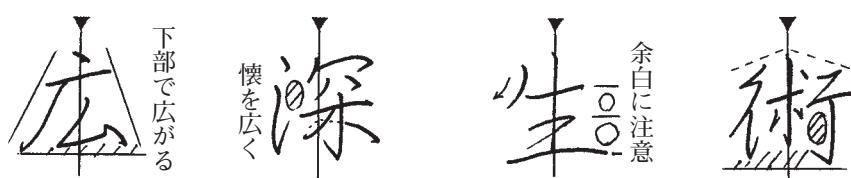
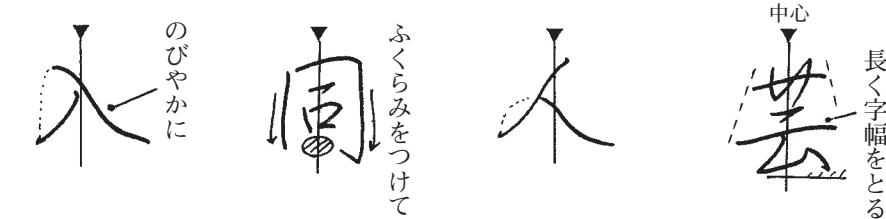
職場に復帰されるとのことですが
 御無理は禁物ですどうかゆつくりと
 体を慣らしていつてください

ペン部課題解説

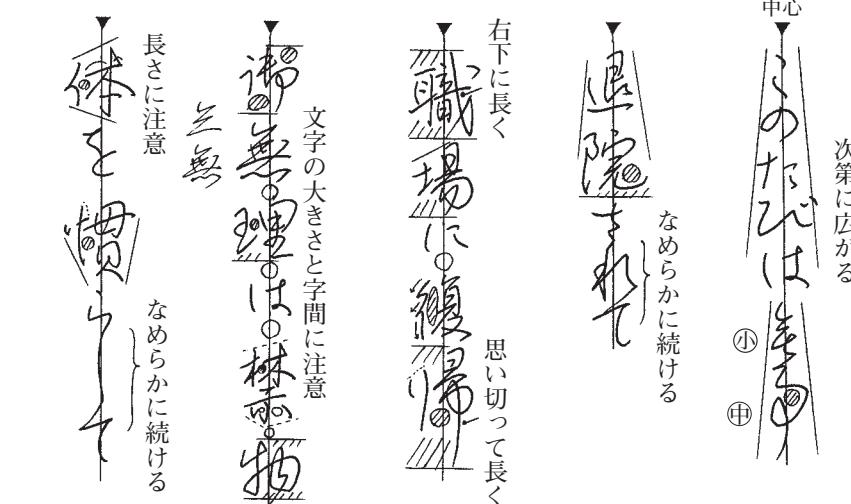
楷書課題



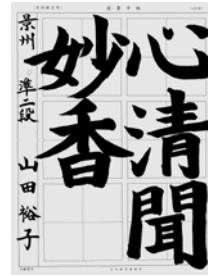
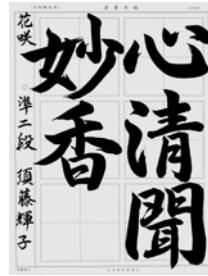
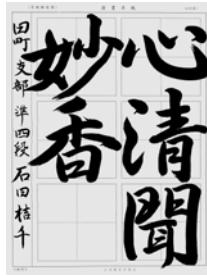
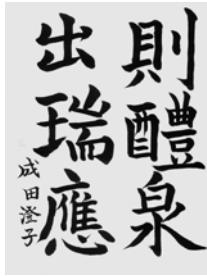
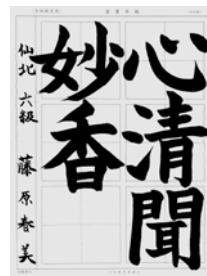
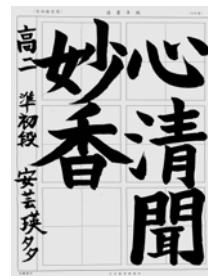
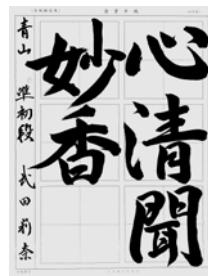
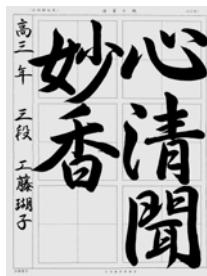
行書課題



手紙課題



[7] 月 号 作 品 紹 介 と の そ し 批 評 ①]



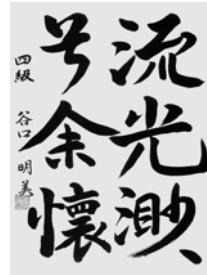
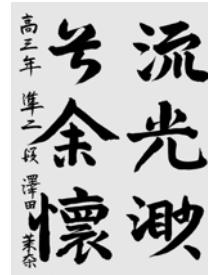
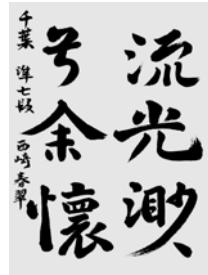
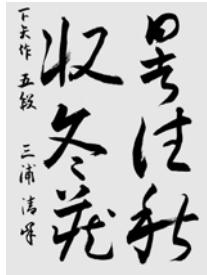
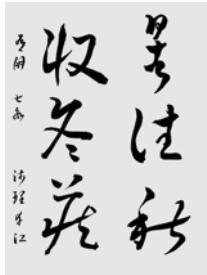
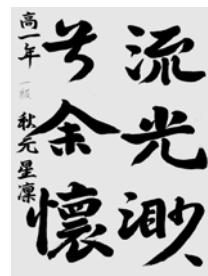
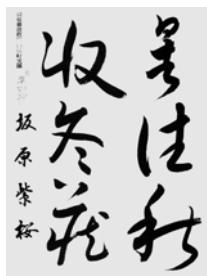
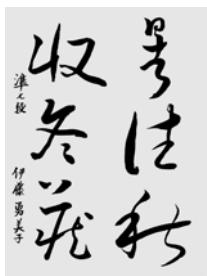
世田谷支部 準五段 佐伯松凜子
一貫したりズムで書かれ、余裕のある作品。
手本の要点をよく踏まえて書けている。

清原書道教室 三段 工藤瑚子
運筆に安定があり、練習の成果が出ていている。
田町支部 準四段 石田桔千
抑揚のリズムをもつて表現されている。

青山書道教室 準初段 武田莉奈
思い切りのよい運筆で、線に伸びがある。
花咲支部 準二段 須藤輝子
筆致あり、筆の弾力をうまく生かしている。

宮城県 準初段 安芸瑛多
整った字形でしっかりと書かれている。
景州支部 準二段 山田裕子
形のとり方が良く、雰囲気良くまとめてている。

仙北支部 6級 麻原春美
落ち着いた書きぶりで、よくまとめられている。
秀倉支部 2級 高嶋大将
余白が生かされ、すっきりと明るく仕上がった。



秋田県 準七段 伊藤勇美子
余白が生かされ、すっきりと明るい仕上がりだ。
有朋支部 7段 浅理幸江
氣脈が一貫していて、流れの美しい作品。

紫桜書道教室 準四段 坂原紫桜
素直な線で字形よく、バランスよくまとめた。
下矢作支部 5段 三浦清峰
丁寧な書きぶりで線に伸びもあり、充実感ある作品。

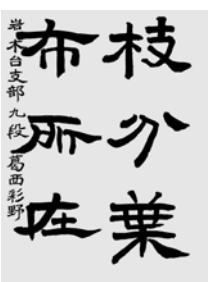
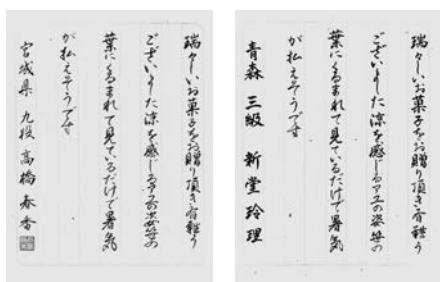
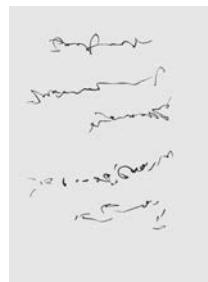
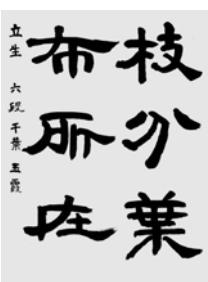
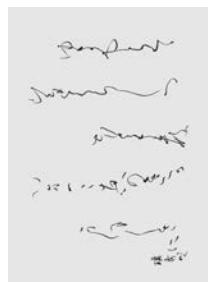
千葉県 準七段 西崎春翠
手本に忠実に書かれていてよろしい。
瑞心支部 準二段 澤田葉奈
字形・配字よくバランスのとれた作品。

大瀬支部 準二段 澤田葉奈
用筆に安定感がある。この調子で進んでほしい。

赤畠支部 準五段 麦沢碧風
しっかりとした筆遣いで落款ともにすばらしい作品。

千葉県 4級 谷口明美
しっかりとした筆遣いで落款とともにすばらしい作品。

[7月号作品紹介と批評(2)]



桜支部
1級 小池 瑞秀
筆の抑揚がなされ、しなやかな
線が表現できている。
陽雲支部 準九段 畠山 陽雲
筆先の利いた、余裕ある書き振
りの立派な作品。

日高支部
八段 高倉 路子
冴えた線で調和のとれた素晴ら
しい出来栄えだ。
宮城県
九段 高橋 春香
柔軟な用筆で見事な出来栄えの
作品。

天神支部 準九段 原子 泰鳳
線に切れ味と伸びの良さを感
じる。
青森県
3級 新堂 玲理
やさしい筆致と正しい造形で全
体によくまとまっている。

美風会 準初段 高村 春菜
よくまとまっている。上の段目
指して頑張ってほしい。
茜風農田教室 八段 成田 晓鳳
筆遣いの正確さが見事。この調
子で。

立生支部 六段 千葉 玉霞
字形を捉えてよくまとめている。

岩木台支部 九段 葛西 彩野
深みのある線で、造形も原帖の
特徴をよく捉えている。

やさか支部

7級 工藤 紗也・余白をうまく生かし、ゆったりと運筆して

いる。

若草習字教室 6級 高杉美智子・細かい部分まで手本をよく観察している。

6級

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

游魚動縁彌

游魚動縁彌

杏泉支部

4級

辻 修子・

紫苑小峰支部

4級

辻 修子・

游魚動縁彌

游魚動縁彌

杏泉支部

3級

渡邊いまり・

素直な書き方で、好感の持てる作。

游魚動縁彌

いまりも

萌生支部 1級 川村 都子・運筆のリズムよく、伸びやかに書かれている。

游魚動綠柄

およよみ

金木支部 1級 工藤 秀子・筆の弾力を生かした作。構成もよろしい。

游魚動綠柄

およよみ

三ツ葉支部 初段 太田 景桜・安定した筆運びで、用筆もしつかりしている。

游魚動綠柄

およよみ

麗煌支部 4級 原 美里・線に冴えと厚さを備え、素晴らしい作品。

漁夫情意極也深眼於迷拂被
帰太晚日在畫橋面

帰太晚日在畫橋面

漁夫情意極也深眼於迷拂被
帰太晚日在畫橋面

帰太晚日在畫橋面

成美

愛知県 3級 神谷 成美・細やかな配慮が感じられ、丁寧に書き上げた。

永岡支部 2級 岩淵 滴・着実な筆運びで、字形もよく捉えている。

漁夫情意極也深眼於迷拂被 帰太晚日在畫橋面

美穂支部 四段 田口 翔霞・流動感あふれる表現が見事。更にこの精進下

漁夫情意極也深眼於迷拂被 帰太晚日在畫橋面

魁支部 五段 石山 彩雲・筆を弾力的に使って、鋭い線を表現している。

漁夫情意極也深眼於迷拂被 帰太晚日在畫橋面

一関支部 六段 神 白菖・柔和な温かみのある表現がよい。

漁夫情意極也深眼於迷拂被
帰太晚日在畫橋面

漁夫情意極也深眼於迷拂被
帰太晚日在畫橋面

漁夫情意極也深眼於迷拂被
帰太晚日在畫橋面

漁夫情意極也深眼於迷拂被
帰太晚日在畫橋面

成美

秀霞支部 準七段 村館 虹蓮・強弱の変化佳。字体もよく捉えている。

[7月号作品紹介の批評④]

桑月支部

九段 福士 爽月・筆の開閉、抑揚がうまくとれている。

涙寒情多極也深眼於迷拂散
歸太晚身在盡搖西東月

伊豆向日葵支部

6級 算用子旭楓・重厚な線で堂々とした作品。

誰為茶毒念不道殘百身
何贖焉休矣哉多承

川村書道教室

四段 佐々木瞳華・造形がしっかりときていて、まとまりある

涙寒情多極也深眼於迷拂散
歸太晚身在盡搖西東月

素掌支部

七段 近 溪風・粘り強い線で、文字の大小もよろしい。

涙寒情多極也深眼於迷拂散
歸太晚身在盡搖西東月

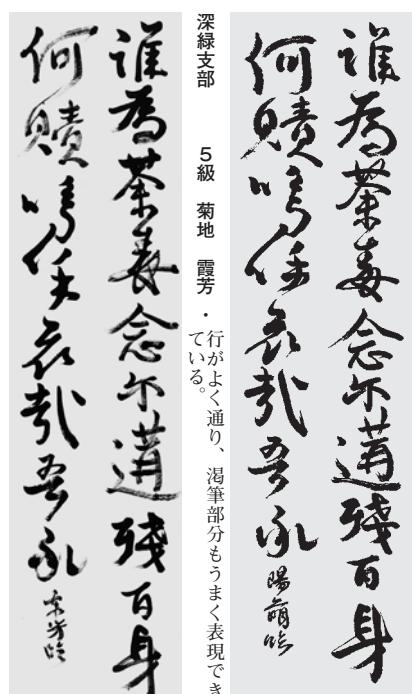
上川沿支部

準八段 笠谷 正法・やや線が硬いようだが、よく文字を引き締

涙寒情多極也深眼於迷拂散
歸太晚身在盡搖西東月

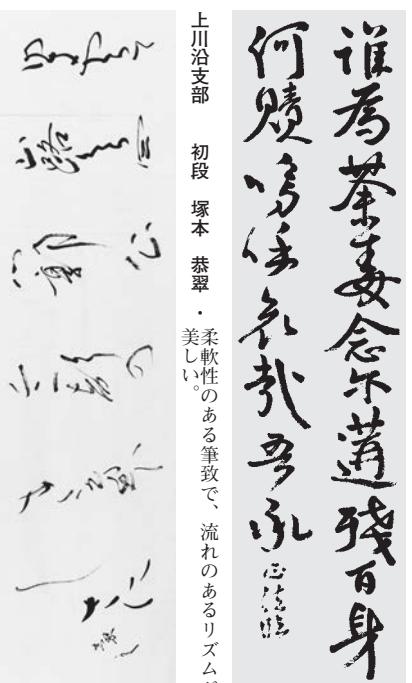
藍穂平賀支部

準八段 武田 優泉・素直な表現で穏やかな作。流れも美しい。



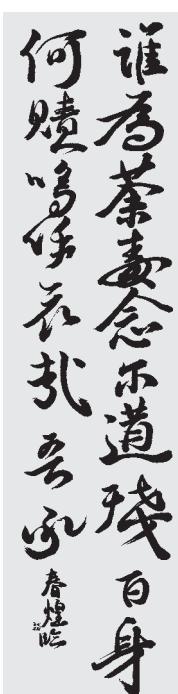
深緑支部

5級 前田 陽萌・柔軟な用筆で、潤渴部分もうまく表現でき



上川沿支部

初段 塚本 萱翠・柔軟性のある筆致で、流れのあるリズムが



木崎野牧支部

4級 吹越 春煌・ダイナミックで重厚な作品に仕上げている。



[7月号作品紹介とその批評(5)]

文部省 支那名 段級位 氏名		硬筆用紙 (6行)
杉の子		私は機会の到来に備えて学び
六級		いつでも仕事に
児玉 優子	リンカーン	かかれる態勢を
		整えている
私は機会の到来に備えて学び	いつでも仕事に	かかれる態勢を
いつでも仕事に	かかれる態勢を	整えている
かかれる態勢を		
整えている		

杉の子支部 6級 児玉 優子

● 真面目で丁寧な書き振りに好感が持てる。

文部省 支那名 段級位 氏名		硬筆用紙 (6行)
清水		私は機会の到来に備えて学び
準六段		いつでも仕事に
加藤 楓華	リンカーン	かかれる態勢を
		整えている
私は機会の到来に備えて学び	いつでも仕事に	かかれる態勢を
いつでも仕事に	かかれる態勢を	整えている
かかれる態勢を		
整えている		

清水支部 準六段 加藤 楓華

● 文字の造形、余白のとり方が優れている。

文部省 支那名 段級位 氏名		硬筆用紙 (6行)
啓		私は機会の到来に備えて学び
4級		いつでも仕事に
金澤 麻由	リンカーン	かかれる態勢を
		整えている
私は機会の到来に備えて学び	いつでも仕事に	かかれる態勢を
いつでも仕事に	かかれる態勢を	整えている
かかれる態勢を		
整えている		

啓支部 4級 金澤 麻由

● よく整った字形で、線にも伸びがある。

文部省 支那名 段級位 氏名		硬筆用紙 (8行)
千葉		私は機会の到来に備えて学び
準二段		いつでも仕事に
柳場 悠子	リンカーン	かかれる態勢を
		整えている
私は機会の到来に備えて学び	いつでも仕事に	かかれる態勢を
いつでも仕事に	かかれる態勢を	整えている
かかれる態勢を		
整えている		

千葉県 準二段 柳場 悠子

● 日頃の練習成果が發揮された作。この調子で。

文部省 支那名 段級位 氏名		硬筆用紙 (8行)
雪峰		私は機会の到来に備えて学び
五段		いつでも仕事に
藤原 永峰	リンカーン	かかれる態勢を
		整えている
私は機会の到来に備えて学び	いつでも仕事に	かかれる態勢を
いつでも仕事に	かかれる態勢を	整えている
かかれる態勢を		
整えている		

雪峰支部 五段 藤原 永峰

● 文字の大小も考えながら、うまくまとめている。

文部省 支那名 段級位 氏名		硬筆用紙 (8行)
春麗		私は機会の到来に備えて学び
準四段		いつでも仕事に
武藏 春麗	リンカーン	かかれる態勢を
		整えている
私は機会の到来に備えて学び	いつでも仕事に	かかれる態勢を
いつでも仕事に	かかれる態勢を	整えている
かかれる態勢を		
整えている		

春麗支部 準四段 武藏 春麗

● 筆勢あり、爽やかな感じを受ける。

文部省 支那名 段級位 氏名		硬筆用紙 (8行)
美咲野		私は機会の到来に備えて学び
五段		いつでも仕事に
濱本 聰華	リンカーン	かかれる態勢を
		整えている
私は機会の到来に備えて学び	いつでも仕事に	かかれる態勢を
いつでも仕事に	かかれる態勢を	整えている
かかれる態勢を		
整えている		

秋田県 八段 佐々木知子

● 自然な用筆で字体のまとめ方もよろしい。

文部省 支那名 段級位 氏名		硬筆用紙 (8行)
ゆきんこ		私は機会の到来に備えて学び
五段		いつでも仕事に
品川 容子	リンカーン	かかれる態勢を
		整えている
私は機会の到来に備えて学び	いつでも仕事に	かかれる態勢を
いつでも仕事に	かかれる態勢を	整えている
かかれる態勢を		
整えている		

ゆきんこ支部 五段 品川 容子

● 素直なペン運びで、バランスよく書いている。

第41回 読売書法展

◆ 読売獎励賞



青森県弘前市

この度の身に余る受
賞は、ひとえに對馬聖
峰先生の懇切なるご指
導の賜物と心より感謝
を申し上げます。また、
日頃より励まし続けて
下さる諸先輩方への感
謝の念も堪えません。
ありがとうございました。

久しぶりの読売東京展の見学と中央表彰式への参加はとても感慨深いものでした。「国

立新美術館では、日本を代表する先生方や多くの受賞作品を生で見る事が出来、今後の書作にとても参考になる刺激を受けることができました。自分の拙作を見て一層努力しなければと反省しました。また、表彰式の莊厳な雰囲気、祝賀会の人の多さにも圧倒されました。青潮会主催懇親会では、全国の書友との楽しいひと時を満喫し、すがしい気持ちで東京を後にすることになりました。

今後も書作活動に精進する所存ですでの、叱咤激励の程宜しくお願い申し上げます。

（北海道札幌市）遠藤紫山　このたび、「第41回 読売書法展」におきまして、特選という榮えある賞を賜りましたことは、私にとりましてこの上ない喜びであり、まさに身に余る光榮であります。発表を知つた瞬間から今に至るまで、感激の思いが尽きず、大きな励みとなつています。

◆秀逸 賜りますようくお願い申し上げます。

秀逸を
年に嬉
ます。 夏
書法展」
読売書
レジを
た。見覚

◆秀逸 昨年に続いての授賞でしたので喜びと嬉しさと驚きで心は一杯。「書」に魅せられての長い時間を宝物にこれからも真摯に向きあつて参りたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

私は書をはじめて40数年になりますが、この間には私に思われぬ出来事があり、10年間ぐらいは書に身が入りませんでした。でも私は一度も筆を置くことはありませんでした。今回の受賞は私にとりまして大きな励みであると同時に、書の道の奥深さを改めて感じる機会となりました。これからも健康に留意してゆつくりと精進してまいります。

○ 1976 年 1 月 1 日至 1977 年 12 月 31 日止。

書のたより

清禮修
和節養

◆
特
選



聖峰先生、中井嶺暁先生には、改めて心から感謝申し上げます。また、嶺暁書道塾の書友鷹揚会の皆様と共に研鑽を積めたことも、この喜びにつながつたと思っています。

えのある方々の名前に混じつて自分の名前を発見！その夜は嬉しさと興奮で睡眠不足の感覚。翌日、中井嶺暁先生より「おめでとう」のお電話。やつと確信できました。

秋田県湯沢市伊藤素香

秋田県湯沢市
伊藤 素丞

伊泰
泰

「第41回読売書法展」伊東秀夏

A black and white portrait of Dr. Yoko Ogawa, an elderly woman with short, dark hair and glasses, wearing a light-colored top.

深さを改めて感じる機会となりました。これからも健康に留意してゆつくりと精進してまいります。

A black and white portrait of Linda S. Hays, a woman with short dark hair and glasses, smiling at the camera.

◆秀逸
賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年に続いての授賞でしたので喜びと嬉しさと驚きで心は一杯。「書」に魅せられての長い時間を宝物にこれからも真摯に向きあつて参りたいと思ひます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

私は書をはじめて40数年になりますが、この間には私に思わず出来事があり、10年間ぐらいたは書に身が入りませんでした。でも私はせんでした。一度も筆を置くことはありませんでした。今回の受賞は私にとりまして大きな励みであると同時に、書の道の奥

からも健康に留意してゆつくりと精進してまいります。

書道展だより

第40回秋田県北地区書道展

会期 8月22日～24日
会場 「いとく大館」

シヨツピングセンター
今年の書道展は40回を迎
え長い歴史を先輩の指導者
達から引き継ぎ開催する事
が出来ました。生徒の部98
点と成人の部53点・無鑑査
5点・支部長12点・小作品
15点・ふれあいの書13点合

計196点を展示了。

青森県東青地区研修会

とき・8月31日
ところ・「わかみや会館」

もあり、その為にも「書く楽しみ」を心の片隅に、そのゆとりの場所を作つてい

とき・8月31日
ところ・「わかみや会館」
(青森市)
例年になく日中は残暑厳しく続く中、対馬会長をお迎えし開催されました。終始和やかに進む中、より上手になる為には「まねる」「学ぶ」技術的な事はもちろんですが、書は苦しみが多く、心に溜まっているものが、漣のよう写しだされゆく、好きで続いている時書、時には負担に感じる時

のゆとりの場所を作つていいこうと思いました。

参加者の添削を拝見し、改めて気付く点、又「継続は力なり」とより実感する事が出来ました。会長先生の筆遣い一枚だけで仕上げるのには、いつも敬嘆しております。毎回、新しい登見がある研修会でした。

有難うございました。
(奈良 静苑 記)



(山內豐泉記)



感謝申し上げま
す。

研修会報告

書を学んでる証

雅号命名書



雅号選字箋	西	西とち	西取	西	西の略	西	西の略	西	西の略
羅	葛	葛	12	●	葛	葛	●	葛	葛
号	西	西	6	●	西	西	○	西	西
選	煌	煌	13	○	煌	煌	●	煌	煌
字	桺	桺	10	●	桺	桺	●	桺	桺
箋				新序			新序		新序
			41						

※字義や運格が書かれている
用紙が入っていきます。

※字義や運格が書かれて、用紙が入っていきます。

雅号を申請した方は「命名書」発行後、3ヶ月間は落款印を5%引で購入できます。

雅号申請料

10,000円

※画数を研究、検討して命名しますので、「命名書」発行までは約一ヶ月の期間が必要です。

号の調和、字義の趣向と音韻、陰陽の配合、画数の吉凶等を研究の上、命名しています。また、会員であれば、だれでも申請できます。

初等部免許状取得者紹介

	漢字半紙部 松岡 晴子 秋田県大館市
	漢字半紙部 山本 瑠里(愛結) 静岡県賀茂郡西伊豆町
	漢字半紙部 安藝爽翔(瑛多) 青森県五所川原市
	漢字半紙部 松川景翠(未牧) 宮城県仙台市
	漢字半紙部 今泉彩華(咲乃) 青森県青森市

作品に落款印を探そう!

馬聖峯水

清書作品に、落款印をきちんと捺していると、好印象を与える、作品の価値観も高まります。

落款印のご注文は支部長先生へ
お願いします。
(個人会員は本部教務課まで)
※専用注文書がございます。

	漢字半紙部 土居彩潤(新子) 北海道旭川市
	漢字半紙部 安部 遥 秋田県大館市
	漢字半紙部 山口ゆり 秋田県大館市
	漢字半紙部 金橋別嬪(寛) 青森県三沢市

上品で力強くつややかな墨色黒味にこだわった書道液

作品用書道液

玄徳

選べる
4種の濃度

それぞれの濃度に適した伸び、運筆の良さで書き易く、製品の安定性、乾き、表具性に優れた樹脂系作品用液体墨です。

普通濃度
濃墨

中濃墨
超濃墨



株式会社 吳竹

〒630-8670 奈良市南京終町7-576
TEL:0742.50.2050 FAX:0742.50.2070



吳竹公式 HP

第48回 青潮書道会全国展

鷹揚会について

会期 令和8年4月1日(水)～5日(日)

会場 「大阪市立美術館」

部門および出品料

○公募 (2尺×8尺) 出品料(7,000円)

○準特選以上の入賞者は 貸額料(13,200)がかかります。

○半切コンクール 出品料(5,000円)

出品課題は自由です。『書の暁』条幅課題等の出品も可。

※上位特別賞は表具料(6,500円)がかかります。

作品締切日 令和7年12月19日

申込締切日 令和7年10月17日 (電話で可)

〔出品申込み作品送付先〕

〒036-18006 弘前市南大町2-1-3-1

鷹揚会 青潮書道会展係

第41回 鷹揚会書道展

会期 令和8年6月5日(金)～7日(日)

会期 東奥日報新町ビル3階「Newsホール」
(青森市新町2-1-2-11)

会期 令和8年6月6日(土)
「青森アップルパレス」(青森市)

作品締切日 令和8年3月31日(火)

◎鷹揚会書道展へ向けて

特に、支部長先生へのお願いですが、平素より例月の四半切課題への取り組みを奨めていただき、次に半切へステップアップできるよう指導をお願い致します。

令和8年には第41回の鷹揚展が開催予定ですので、支部長先生はもとより、お弟子さんの積極的なご出品をお願い致します。

◎各研修会へ向けて

研修会は講師の筆遣いを直接見る事の出来る貴重な機会ですし、書友との交流をはかるとともに楽しい会です。書技向上の為に支部長や支部会員さんもお弟子さんや仲間を誘いあい、積極的なご参加をお奨めします。

先ずは支部長が例月の条幅課題に取り組み、研修会へ参

◎鷹揚会会員について

鷹揚展第2科出品者で、特選以上の入賞者は鷹揚会へ入会して頂きます。(高校生を除く) 鷹揚展第2科へは鷹揚会未加入でも出品は可能ですが、審査結果が特選以上に入賞した場合は自動的に鷹揚会会員となり、次回の出品料は成人は3,000円と会員外の出品料より安くなります。

入会後は会報や名簿の送付、各書道展や研修会の案内が優先的に送付されます。 年会費は5,000円で、会報や名簿に同封されている振込用紙でのご送金をお願いします。

ご不明な点は鷹揚会事務局までお問合せ下さい。

CIの印刷関連企画
編集・広告
パッケージ
グラフィックデザイン
ポスター・パンフレット・DM
エディトリアルデザイン
製本・製袋および印刷関連加工



地域文化と価値創造の接点

(有)アート印刷

青森県五所川原市金山字亀ヶ岡46-7
TEL 0173-34-4487(代)・FAX 0173-34-4459

★お子さんの誕生記念に

“胎毛筆”

- ・頭髪は生後10ヶ月位までのものが良い
- ・髪の長さは5cm以上
- ・カットした髪は根元をそろえ輪ゴムで止める
- ・子供の名前と生年月日を記入
- ・製作日数は約2ヶ月
- ・申込みは日本教育書道会まで

伝統的工芸品熊野筆製造元

神技堂

〒731-4221
広島県安芸郡熊野町
出来庭五丁目9番23号
082(854)0061

揮毫動画を見る方法 ラインのアプリを使うと早いです



LINEのアプリを2秒ほど長押しします。



上から3番目のQRコードリーダーをタッチ。



手本のQRコードを読み取って上に出てきた青い部をタッチする。



動画が再生されます。



LINEを使っている方はぜひこの方法でトライしてみて下さい。
コツとしては最初のLINEをタッチする時は2秒長押しです。かるくタッチするとLINEが開いてしまいます。

11月号 挥毫動画

揮毫動画は参考に書かれたもので、動画の作品が手本となっているわけではありません。
細部が手本と違う部分があることをご承知おきください。



p9

漢字半紙部
隸書臨書課題



付録

漢字半紙部
行書基本課題

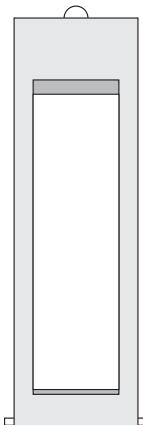


迅速、丁寧に専属表具師が仕立てます

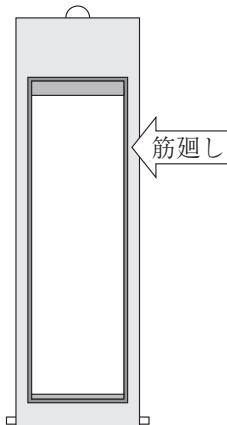
表装のご案内

《掛軸本表装》

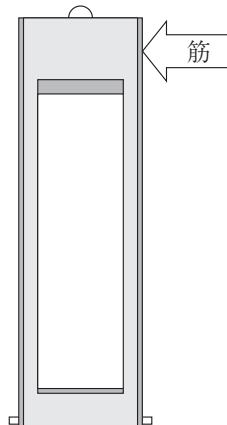
「無地丸表装」



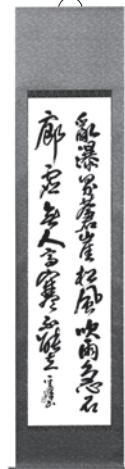
「丸表装」
筋廻し付



「丸表装」
明朝仕立



正絹
「丸表装」



拡大図

規格 (作品寸法)cm	体裁	無地表装	丸表装	丸表装 筋廻し付	丸表装 明朝仕立	正絹 丸表装
半紙	横 縦 24.3×33.3	5,000円	10,000円	12,000円	14,000円	15,000円
四半切	横 縦 17.5×67.5					
半切幅	幅 長さ 36×137以内	7,000円	12,000円	14,000円	16,000円	17,000円
連落幅	幅 長さ 53×137以内	12,000円	17,000円	19,000円	21,000円	22,000円

※正絹…繭から紡がれた一番糸を使用し織り上げられた最高級の表装用裂地。

上記の他に、茶掛表装・三段表装・デザイン表装等仕立てておりますので、お問い合わせ下さい。

※リフォーム表装…お手持ちの帯・羽織・着物・反物等で作品を優美な一幅に仕立てあげます。額のマットに使用し作品を優雅に彩る事もできます。価格につきましてはお問い合わせ下さい。

◎上記以外の作品寸法につきましては、お問い合わせ下さい。

◎古くなった掛け軸の仕立て直し等、無料でお見積もりします。

◎半紙の表装は、作品サイズ《横24.3×縦33.3cm》に限り、上記の価格で仕上げます。

◎四半切の表装は、作品サイズ《横17.5×縦67.5cm》に限り、上記の価格で仕上げます。

◎支部名、検定印、段級位印等のスタンプを押した作品は、水をかけてシワ伸ばしをする際にインクが滲むことをあらかじめご了承下さい。

◎本表装の仕上り寸法は半切作品ですと約195cm、三段表装は約210cmとなります、ご希望の寸法に応じます。

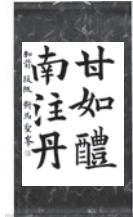
◎作品をご送付の際は、作品寸法、体裁を必ず明記の上、落款印の上に薄紙をのせて、必ずビニール袋に入れて送って下さい。(ご希望の布地色がございましたら、書き添えて下さい)

◎仕上り期間は約3週間ですが、お急ぎの場合はご連絡下さい。

《仮巻表装》 作品を一度裏打して仮巻本体に貼付する表装です。



半紙
「虹」仕立



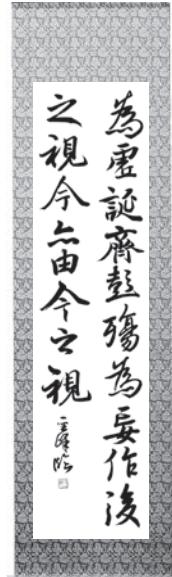
半紙
「雲竜」仕立



四半切
「紙どんす」仕立



検定画仙紙
「雲竜」仕立



半切
「紙どんす」仕立

仮巻表装の仕上り寸法につきましてはお問合せ下さい。

規格	種類	雲竜	虹	紙どんす
半紙		1,160円	1,260円	
四半切		1,360円		1,530円
検定画仙紙		1,670円	1,780円	
半切		2,380円		2,550円

《裏 打》 仕上り期間は約2週間ですが、お急ぎの方にはご相談に応じます。

規 格	半 紙	四 半 切	検定画仙紙	半 切 $\frac{1}{2}$	半 切	全 紙
定 價	500円	600円	800円	900円	1,200円	2,200円

《書道額》 アクリルガラス入、ベタ仕様です。

規 格	裏板寸法 (cm)	木製角組額 外枠(木製)	プラカーゴ額 外枠(なし)	裏打・張込料
半 紙	52×40	15,620円		900円
四 半 切	91×34	21,010円		1,100円
半 切 $\frac{1}{2}$	91×45	27,610円		1,700円

書道額は一回のご注文につき、メーカー送料2,000円を申し受けます。

◎上記以外の作品寸法、額仕上り体裁、アルミ額等につきましては、お問合せ下さい。

◎デザイン仕様につきましては、1,000円増しとなります。

◎半切以上の大きさの額は本会からの送料を、実費負担して頂きますのでご了承下さい。

◎掛軸本表装・仮巻表装の梱包送料は、1回のご請求金額2万円以上のご注文は無料ですが、それ以外は、別途送料がかかります。

支部会員は支部長先生へ、個人会員は本部教務課へお問い合わせ下さい。

